



久留米市鳥類センター

**Poppo**  
ポッポ



**足のヒ・ミ・ツ!**  
~誰の足かな??~

# クイズ! ~誰の足かな??~

写真は、鳥類センターで飼育している鳥類の足だよ!  
何の鳥だか、わかるかな? (ヒントをよーく読んでね!)



**ヒント!**

厚みのある足には、みずかきがあり、上手に泳ぐことができます。  
太い爪とザラザラした皮膚は滑り止めになっている。

**ヒント!**

強い足のかかと、とがった爪で飛んでいる鳥や小動物を襲います。



**ヒント!**

太い足の先には丈夫で鋭い爪がある。足のかかも強く、時速50キロほどのスピードで走ることができる。



**バックナンバーあります!**

ご希望の方は鳥類センターまでお問い合わせ下さい。

公益財団法人久留米市都市公園管理センター  
久留米市鳥類センター

〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町中央公園内

TEL 0942(33)2895 FAX 0942(33)2896

休園日 毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日~1月1日)

久留米市鳥類センター

検索

# 足のヒ・ミ・ツ

鳥の足には、短い足・長い足・爪が尖った足・水かきがある足など、いろんなものがあります。空を飛ぶ鳥にとって足には、とても大切な働きがあります。現在、鳥類センターで飼育している鳥たちの足を一部、ご紹介します！

## 泳ぐための足

アイガモ・コブハクチョウ・ガチョウなど

水かきのついた足をもつアイガモなどは、水の上を自由に泳ぐことができます。

水かきが、オール役をして素早く泳ぐことができます。



## 獲物をつかむ足

ハヤブサ・トビ・ノスリなど

強い足の力と、とがった爪をもつハヤブサなどは、飛んでいる鳥や小動物を捕まえて食べています。

襲った獲物を決して放さない、肉食の鳥の足です。



## 走るための足

ダチョウ・レア・ヒクイドリ・エミューなど

太く強い足をもつダチョウなどの走鳥類(そうちようるい)は空を飛べないかわりに、猛スピードで走ることができます。

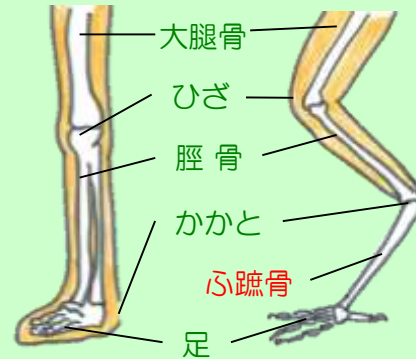
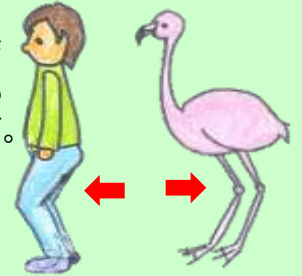
速く走ること、敵から逃げて身を守ります。



## “人間の脚” と “鳥の脚”

鳥類は、人間と同じように2本の足で歩きます。しかし人間の脚が前に曲がるのに対し、鳥類の脚は後ろに曲がります。

これは、脚の骨格に違いがあります。



鳥類は、かかとと足の間に「<sup>しよこつ</sup>心臓骨」という骨があり、とても発達しています。

大腿骨(太もも)は、体の中に隠れていて脛骨・心臓骨が“脚”として見えている部分になります。

心臓骨があるため、脚の曲がり方が全く逆に見えますがひざとかかとの曲がり方は人間も鳥類も同じです。

## 沼地を歩く足

タンチョウ・マナヅル・オオヅルなど

細く長い足と指をもつタンチョウなどは、沼地などの足場が悪い場所でも、上手に歩くことができます。

